

開講学科		前橋工科大学 シラバス			
教職センター（生物工学科）		標準対象年次	選択／必修	科目コード	
科目名		3年次	必修	21001201	
担当教員		単位数	学期	曜日	時限
		1単位	前期	火曜日	5時限
授業の教育目的・目標	教育実習を行うための準備として、大学教員ならびに学校現場の教員から具体的な講義を受け、実習に対する姿勢、心構え、授業の方法を身につけることを目的とする。また、実習後に各自が実習を振り返り、今後の学修の課題を明らかにする。				
学科の学習・教育目標との関係	「社会人としての確かな見識と現場での実践力を備え、生徒への支援ができる。」という目標を達成するために、総合的な実践力を身につけさせる。また、その資質能力や進路に関する自己分析もさせる。				
キーワード	模擬授業、教科教育、生徒指導、成果発表				
授業の概要	専任教員が、社会人としてマナーや振る舞いについての講義し、生徒に対する接し方を理解させる。そして、生徒の実態を把握させるとともに現場の教員の授業を参観することで、授業の組み立てのシミュレーションも行う。実習後には、その成果と問題点を発表させ教職に対する意識を高める。				
授業の計画	第1回： 社会人としてのマナー・ふるまいについて(小林・菅原) 第2回： 教員としての認識と教員の使命について(小林・菅原) 第3回： 教育実習の姿勢・心構えについて(小林・菅原) 第4回： 実習校見学(1) 授業(小林・菅原) 第5回： 実習校見学(2) 実験(小林・菅原) 第6回： 生徒の実態調査とその対応(小林・菅原) 第7回： 授業の組み立てにおけるシミュレーション(1)－計画(小林・菅原) 第8回： 授業の組み立てにおけるシミュレーション(2)－展開(小林・菅原) 第9回： 授業の組み立てにおけるシミュレーション(3)－実施(小林・菅原) 第10回： 模擬授業(1)－物理・化学(小林・菅原) 第11回： 模擬授業(2)－生物・地学(小林・菅原) 第12回： 実習後の現場の教員、大学教員との懇談(小林・菅原) 第13回： 実習報告会(1)、授業内容と生徒の理解度についてのグループ討論(小林・菅原) 第14回： 実習報告会(2)、生徒指導や生活指導に関するグループ討論(小林・菅原) 第15回： 実習報告会(3)、教職に関する総合的討論と今後のビジョン(小林・菅原)				
受講条件・関連科目	受講条件：教職課程履修登録者、本年度教育実習予定者 教育実践に関する科目（教育実習）				
授業方法	講義、実習				
テキスト・参考書	参考書：教育実習の手引き及び教育実習記録				
成績評価	・試験（ ） ・レポート（100%） ・その他 注意事項（ ） 授業の方法、教育の実践例、事後学習のレポートを提出させその内容を評価し単位を認定する。				
履修上の注意	教育実習前に自主的な模擬授業の実施を課す 教育実習校あるいは教育実習協力校に出向いて事前打ち合わせを通して行うこともある。				